

Patlytics知財AIプラットフォーム調査レポート

情報基準日：2026-07-26 (Asia/Tokyo)

本レポートは公開情報のみを対象に整理したものです。公開資料で確認できない項目は、明示的に「未公開」と記載しています。

エグゼクティブサマリー

Patlyticsは、**特許ライフサイクル全体**を対象にしたAIネイティブな知財プラットフォームで、侵害検出、無効資料探索、FTO、SEP分析、クレームチャート、ドラフティング、オフィスアクション対応、発明届、ポートフォリオ分析までを一つの環境にまとめている点が最大の特徴です。公式サイトは、同社を「full patent lifecycle」のためのプラットフォームと位置づけ、**130M+ patents preloaded**、**prosecution history preloaded**、モジュール横断のAIエージェントを前面に打ち出しています。¹

会社面では、Patlyticsは**2024年創業**、**ニューヨーク市本拠**、共同創業者は**Paul Lee (CEO)**と**Arthur Jen (CTO)**です。資金調達は、**2024年のSeed 450万ドル**、**2025年のSeries A 1,400万ドル**、**2026年のSeries B 4,000万ドル**が公開されており、会社自身はSeries B時点で**累計約6,500万ドル**と説明しています。公開金額の単純合計は5,850万ドルなので、差分は**追加の未開示ラウンドまたはエクステンション**を含む可能性があります。²

製品・技術の観点では、Patlyticsは**特許データでファインチューニングしたモデル**、**citation-backed outputs**、**source auditing**、**confidence indicators**を強調しています。一方で、**具体的な基盤モデル名**、**ベクトルDBや検索エンジンの製品名**、**OCRエンジン**、**オンプレミス提供可否**、**公開API仕様**は公開ページからは確認できません。つまり、製品価値はかなり明確ですが、**アーキテクチャの実装詳細**はかなりブラックボックス寄りです。³

導入効果については、Patlytics自身の事例では、**侵害調査を月単位から時間単位に短縮**、**Am Law 100の案件で80%時間削減**、**120件の特許分析を20時間で実施して約3.8万ドルのマージン増**、**ドラフティング1件あたり5,000〜7,500ドル相当の節約**などが示されています。ただし、これらはベンダー自身が公表するケーススタディであり、第三者監査済みのKPIではない点は留意が必要です。⁴

総合評価として、Patlyticsは**特許訴訟・分析・出願・ポートフォリオ運用を一気通貫で回したい企業知財部門や特許法律事務所**には有力候補です。逆に、**価格透明性**、**モデル透明性**、**オンプレ/プライベート環境要件**、**既存DMS・ドケッティング・BI基盤との統合方法**を重視する組織では、PoC前に確認すべき論点が多い製品です。⁵

会社概要

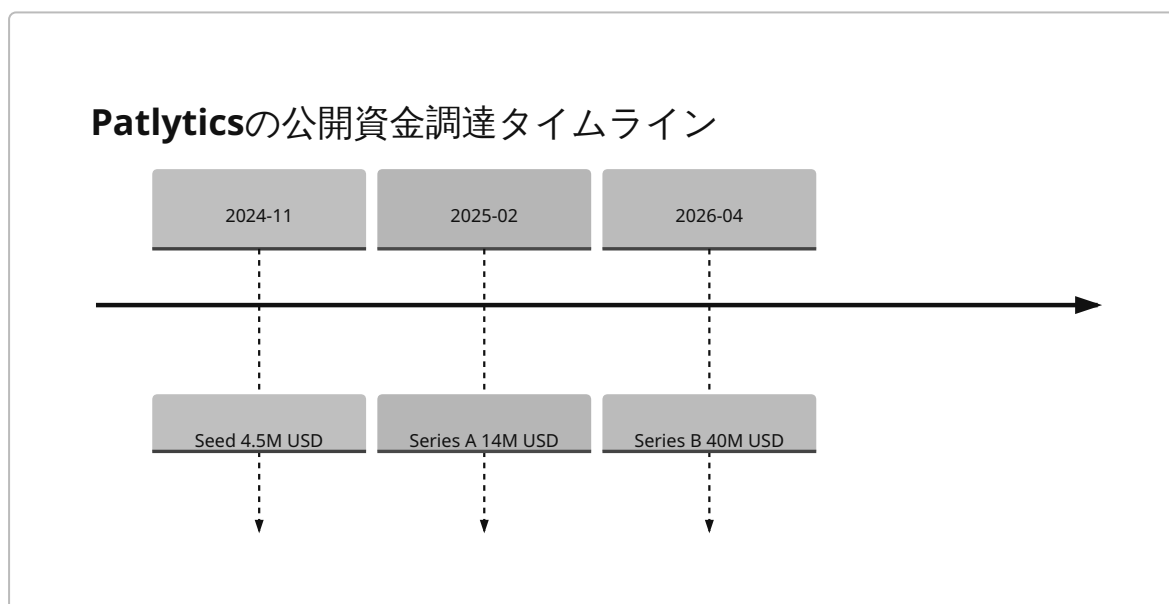
企業プロフィール

項目	内容
会社名	Patlytics, Inc.。利用規約上はDelaware corporationとして記載。 ⁶
設立年	2024年 。公式Seed記事で「beginning this year」に始めたと説明され、外部報道・DBも2024年創業と整合。 ⁷

項目	内容
所在地	ニューヨーク市 。公式採用ページで「headquartered in New York City」、LinkedInでも「New York, NY」。 ⁸
共同創業者	Paul Lee (Co-founder & CEO)、Arthur Jen (Co-founder & CTO) 。 ⁹
創業者略歴	Paul LeeはVC出身、Arthur Jenはソフトウェア開発出身で、ArthurはMagicの共同創業者兼CTOだったと公式が説明。 ¹⁰
主要公開メンバー	経営陣のフル一覧は 未公開 。ただし、公開アドバイザリーボードにはPaul S. Grewal、Michelle K. Lee、Hideki Sanatake、Amar K. Mehta、Roy Maharaj、Joshua Marcus、Yury Kaganらが掲載。 ¹¹
顧客規模の示唆	2026年4月時点で Am Law 100の40%以上 が利用、企業顧客としてMeta、Panasonic、Ford、Verizonなどが報じられている。 ¹²

資金調達状況

Patlyticsの資金調達はかなり早いペースです。公開情報だけでも、**Seed→Series A→Series B**の3段階が明確です。¹³



時期	ラウンド	金額	主導投資家	備考
2024-11	Seed	4.5M USD	Gradient	ステルス脱却と同時に公表。 ¹⁴
2025-02	Series A	14M USD	Next47	累計21M USD到達。 ¹⁵
2026-04	Series B	40M USD	SignalFire	会社説明では累計約65M USD。 ¹⁶

分析メモ：公開ラウンドの単純合計は**58.5M USD**ですが、Series B時の会社公表は**約65M USD**です。2024年11月の「additional funding led by Myriad Venture Partners」に金額未記載のため、ここに未開示分が含まれている可能性があります。したがって、厳密には「**公開金額ベース 58.5M USD、会社公表ベース 約65M USD**」と理解するのが安全です。¹⁷

製品概要と機能

Patlyticsの製品は、単なる「AI特許検索」ではなく、**分析・訴訟・ドラフティング・出願対応・ポートフォリオ運用**を横断するワークフロー製品です。ホームページは、特許分析・訴訟戦略系として**Infringement、Invalidity、FTO、SEP、Portfolio Analysis、Patent & NPL Search、Claim Construction**を、起案・権利化系として**Patent Drafting、Office Actions、Invention Disclosures**を掲載しています。さらにそれらを跨いで動く**Patlytics Agent**が前面機能になっています。 ¹⁸

機能マトリクス

機能領域	公開されている主機能	公開データソース・材料	出力形式・特徴
特許検索・先行技術探索	セマンティック検索、Patent & NPL Search、自然言語検索。 ¹⁹	130M+ patents、300M+ literature という表現と、別ページでは 70M+ patent publications / 250M+ NPL という表現があり、モジュールごとに対象コーパスが異なるか、公開値が更新途中の可能性。 ¹⁹	AI要約、関連性説明、後続モジュールへの連携。 ¹⁹
侵害分析・類似特許/類似製品検出	公開Webクロール、製品資料インデキシング、claim-to-product mapping、read strength ranking。 ²⁰	公開ソース、インデックス済み製品文書、特許クレーム。 ²¹	limitation-by-limitation claim chart、Word/Excel出力、evidence snapshot保存。 ²¹
無効資料探索・クレーム解析	§ 102/103/112分析、先行技術探索、claim construction、combination builder。 ²²	特許公報、NPL、prosecution history。 ²³	citation-backed claim charts、motivation to combine、litigation-ready contention charts。 ²²
FTO	製品資料から候補特許を一括探索し、発売リスクを分析。 ¹⁸	製品資料、候補特許・出願群。 ²⁴	リスク評価、claim mapping。 ²⁵
SEP分析	標準文書に対するessentiality chart。主要標準ファミリーをカバー。 ²⁶	up-to-date standards materials。 ¹⁸	citation-backed essentiality charts。 ¹⁸
ドラフティング	発明届からcomplete draft application、テンプレート/スタイル対応。 ²⁷	invention disclosure、source materials。 ²⁴	filing-ready draft、claims/specification。 ²⁷
オフィスアクション対応	引例自動取得、拒絶理由要約、応答戦略生成、応答ドラフト。 ²⁸	OA文書、claims、specification、 70M+ database の引用特許。 ²⁸	side-by-side画面、argument/amendment編集、監査証跡。 ²⁸

機能領域	公開されている主機能	公開データソース・材料	出力形式・特徴
特許 マップ・ ポートフォリオ分析	heatmap、pruning、classification、high/medium/low triage。 29	保有ポートフォリオ、競合企業・製品、先行技術。 30	Infringement/Validity heatmaps、分類タグ、優先順位付け。 31
発明届・ ファイル管理	DOCX/PDF/PPTX/technical transcriptを構造化発明届へ変換。 Project Workspaces、My Drive。 32	R&D資料、ラボノート、画像/PDF、トランスクリプト。 33	structured disclosures、ステータストラッキング、エクスポート。 33

AI/MLの公開情報

Patlyticsは、「**advanced large language models**」、「**generative AI engine custom-built for intellectual property**」、「**models are fine-tuned on global patent data**」を明言しています。また、利用規約では、Patlytics Toolsが**third party large language models and AI platforms**を利用しうること、ただし**non-retention agreements**により入力やコンテンツの保存・学習利用・人的レビューを禁止していることを記載しています。
34

一方で、**対応モデル名は未公開**です。公開情報で確認できるのは「特許データでファインチューニングされたモデル」「第三者LLMを利用しうる」というレベルまでで、たとえばGPT系・Claude系・Gemini系などの具体名はPatlytics側では明示していません。したがって、導入審査では**基盤モデルの開示可否**を必ず確認すべきです。
35

SaaS・API・更新頻度

Patlyticsは、公式サイト の注文導線、利用規約の**online order form / subscribe / registration page**の記述から、**SaaS提供**であることはほぼ確実です。料金はOrder Formベースで、超過利用があれば月次で請求される設計です。
6

更新頻度については、**数分で終わる侵害検出レポート**、**real-time web search**、**real-time status**、**up-to-date standards materials**など、**リアルタイムまたは準リアルタイム**指向を示す文言はありますが、**日次/週次などの明確なSLA級更新頻度は未公開**です。公開APIも確認できず、**API提供形態は未公開**と評価するのが妥当です。
36

技術スタックとアーキテクチャ

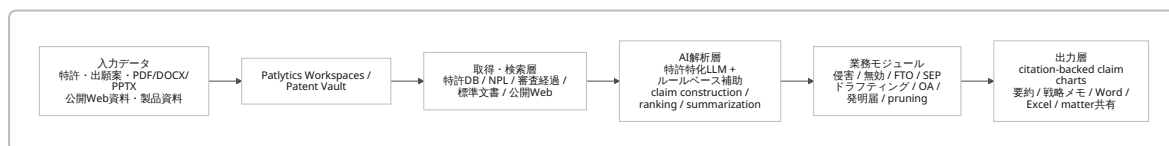
公開情報ベースの技術スタック整理

レイヤ	公開情報	評価
言語モデル	高度なLLM、third-party AI services、特許データでファインチューニング。 34	具体モデル名は未公開。
検索・取得	semantic search、prosecution-history aware、real-time web search、targeted content indexing。 37	インデックス実装方式は未公開。

レイヤ	公開情報	評価
データパイプライン	DOCX/PDF/PPTX/technical transcriptsの取込、automatic tagging/parsing、workspaces連携。 38	文書取込は強いが、ETL基盤名は未公開。
OCR	PDF・画像・スキャン資料の受入れは示唆される。 33	OCRエンジン名・精度仕様は未公開。
出力検証	citation-backed outputs、source auditing、color-coded confidence indicators。 39	説明可能性を一定程度補強。
セキュリティ	SOC 2 Type 2、ISO 27001、ISO 42001、GDPR、AES-256、データ分離、90日保持後削除可、独立評価（NCC Group / A-LIGN）。 40	エンタープライズ基準は比較的強い。
配備形態	オンラインSaaSは確認可能。 6	オンプレ対応は未公開。

概念アーキテクチャ

以下は、公式製品説明・利用規約・セキュリティ説明から再構成した概念図です。モデル名、OCR実装、ベクトルDB/検索エンジン、クラウドベンダーの詳細は未公開であり、この図は論理構成の理解用です。 41



セキュリティとプライバシーの見立て

Patlyticsは、「Your data is not used to train or tune models」を明言し、利用規約ではユーザーの Prompt/Outputは原則学習に使わないこと、第三者AIサービスともnon-retention契約を結んでいることを示しています。また、least-privilege access、organizationごとのデータ分離、履歴90日保持・削除可、24/7 monitoringが公開されています。 42

この開示はかなり前向きですが、法務・情報システムの観点では、なお以下が未解決です。どの第三者LLMが使われるのか、リージョン固定の可否、監査ログの外部連携、秘密情報分類ごとの入力制御、オンプレ/専有環境の有無は公開情報だけでは判断できません。したがって、機微性の高い案件ではセキュリティ質問票とDPAレビューが必須です。 43

導入事例・顧客層・料金

顧客層とユースケース

Patlyticsの顧客層は、大きく分けると特許・知財法律事務所、大企業知財部門、R&D主導企業です。公開ロゴ・事例には、Quinn Emanuel、Foley & Lardner、McDermott、Brown Rudnickなどの法律事務所に加え、Asahi Kasei、Panasonic、Canon、Rivian、Sanofi、Abnormal Security、AUO、Nissanなどが含まれています。 44

ユースケースは、侵害検出/訴訟準備、無効資料探索、FTO/デザインアラウンド、出願ドラフティング、オフィスアクション応答、発明届収集、ポートフォリオ保守・剪定、SEP essentialityまで広く、特に「複数のポイントツールを一つのワークフローにまとめる」設計思想が強いです。 ⁴⁵

公開導入効果とKPI

以下はPatlyticsが自社で掲載する事例を中心に整理したものです。独立第三者による監査値ではないため、PoCで再現性確認が必要です。 ⁴⁶

顧客/事例	業界	用途	公開効果
Asahi Kasei	素材・化学	侵害調査	調査時間が months to hours 、1件あたり thousands の節約、ホームページでは \$1K-5K saved per report とも記載。 ⁴⁶
Am Law 100 事務所	法律事務所	ポートフォリオ分析/IPカウンセリング	80% time reduction 、 120 patents in 20 hours instead of 100 、 ~\$38K added margin 。 ⁴⁶
Young Basile	法律事務所	ドラフティング	20% workload reduction 。 ⁴⁷
Publicly-traded biotech	バイオテック	出願ドラフティング	1件あたり \$5K-7.5K saved 、claims qualityの改善。 ⁴⁸
RJLF	訴訟系法律事務所	調査・レビュー	1-2 days の研究時間短縮。 ⁴⁹
Rivian	自動車	発明届〜ドラフト整形	raw inputsをreview-ready draftsへ整理し、初期整流を高速化。 ⁴⁸

料金体系・ライセンス・トライアル

項目	公開状況
基本料金	未公開 。Patlytics自身の比較記事では Custom pricing 、公式サイトは Book a Demo / Request a Demo 中心。 ⁵⁰
契約方式	Order Form ベース。オンライン注文、登録ページ、署名済Order Formにより利用開始。 ⁶
請求	Order Form所定。特段の定めがなければ 請求書発行後30日以内支払 、超過利用は月末請求。 ⁶
ライセンス範囲	顧客の 内部利用限定 、再販・逆コンパイル・競合製品開発は禁止。 ⁶
Outputの権利	契約上、Prompt/Outputは顧客コンテンツ扱いで、PatlyticsはOutputに関する自己権利があれば顧客へ譲渡。 ⁶
無料トライアル	未公開 。公開ページでは無料トライアル文言を確認できず、デモ申込み中心。 ⁵¹
API	未公開 。公開API仕様ページは確認できない。 ⁵²

競合比較

Patlyticsと比較すべき競合は、**包括型の知財AI基盤、検索特化型のAI特許調査ツール、ドラフティング特化型**に分かれます。Patlyticsの強みは「**検索だけでも、ドラフティングだけでなく、訴訟・分析・出願を一つに束ねていること**」です。逆に、競合の中には**価格がより明確、説明可能AIがより前面、APIやオンプレがより充実した製品**もあります。⁵³

製品	主な機能	公開価格/試用	強み	弱み
Patlytics	侵害、無効、FTO、SEP、ポートフォリオ分析、ドラフティング、OA、IDF、Agent。 ⁵⁴	Custom pricing 、デモ中心、無料トライアルは未公開。 ⁵⁰	特許ライフサイクル全体を単一環境で処理。citation-backed outputs、confidence indicators、特許特化ワークフローが強い。 ⁵⁵	価格・モデル名・API・オンプレが公開不足。デューデリで確認項目が多い。 ⁵⁶
IPRally	Graph AIによる検索、レビュー、モニタリング、分類、ポートフォリオ分析。 ⁵⁷	3日無料トライアル 。エンタープライズ向けカスタムプランあり。 ⁵⁸	Explainable/transparent AIを前面化。検索・分類・競合監視に強い。SSOあり。 ⁵⁹	出願ドラフティングやOA対応など、Patlyticsほどの“フルライフサイクル実務”色は弱い。 ⁵⁹
PatSeer	AI search、AI summaries、AI classifier、PatAssist、NPL統合、ダッシュボード、デザイン検索。 ⁶⁰	FREE Trial あり。価格金額は未公開。 ⁶¹	研究・分析・可視化の機能が厚く、NPLやダッシュボードが強い。セキュリティ開示も比較的细节。 ⁶²	訴訟実務やOA応答の一気通貫運用では、Patlyticsほど“特許実務ワークフロー中心”ではない。 ⁶⁰
Patsnap Eureka	特許検索、ドラフティング、OA response、AI agent、API、R&D/市場情報まで拡張。 ⁶³	Drafting系は Basic Free / Max \$600/月 。APIも公開。 ⁶⁴	API・AI agent・大規模データ・周辺R&D情報との連携が強い。PatSnap全体は cloud or on-prem も掲げる。 ⁶⁵	特許特化の訴訟・無効・claim charting深度では、Patlyticsの専門性が勝つ場面がある。 ⁶⁶
PowerPatent	Drafting、ID capture、flowchart/drawing管理、graphical claim drafting、§ 112 diagnostics、Private PAIR integration。 ⁶⁷	\$199 / 200 tokens 、追加 \$1/token 、enterprise licensingあり。 ⁶⁸	価格が比較的わかりやすく、起案特化として導入しやすい。AWS/OpenAI/SOC 2表示もある。 ⁶⁹	無効・侵害・ポートフォリオ分析などの横展開はPatlyticsより限定的。 ⁷⁰

結論として、検索中心ならIPRally/PatSeer、R&D/外部APIや広域情報連携ならPatsnap、起案特化で低い初期ハードルならPowerPatent、特許実務全体の統合運用ならPatlyticsという住み分けが最も分かりやすいです。 ⁷¹

法的・倫理的懸念と評価・推奨

法的・倫理的懸念

Patlytics固有の論点は、大きく**データ利用・著作権・説明可能性・専門家責任**の4つです。

第一に、**顧客データと第三者LLMの関係**です。Patlyticsは、third-party AI servicesを使う可能性を明示しつつ、non-retention agreementsと学習不使用を説明しています。しかし、利用規約上は**第三者サービスに必要な範囲で情報共有されうる**ため、機密性が非常に高い案件では、**サブプロセッサ一覧、リージョン、ログ保持、管理者アクセス**を契約前に精査すべきです。 ⁶

第二に、**著作権・データ権利処理**です。Patlyticsは公開Webや製品資料をクロールし、NPLを使う設計を持ちますが、利用規約では、ユーザーが投入するコンテンツについて必要権利を持つことを顧客側責任としています。日本の文化庁も、AIと著作権の整理は「情報解析」「享受目的」「学習・生成・利用段階」で論点が分かると示しており、社内資料・有償論文・競合資料の投入ポリシーは別途必要です。 ⁷²

第三に、**説明可能性とバイアス**です。Patlyticsはcitation-backed outputs、source auditing、confidence indicatorsで説明可能性を補強していますが、モデルの中核実装は未公開です。WIPOは生成AI導入に際し、IPリスクのチェックリストとガードレールを重視しており、またUSPTOもAIツール利用時の人間の検証責任を強調しています。つまり、Patlyticsは“**比較的説明可能なAI**”ではあるが、**完全に監査可能なAIではない**と見るべきです。 ⁷³

第四に、**弁理士・弁護士の専門家責任**です。USPTOは、AIツールが先行技術探索やクレームチャート作成を容易にしても、**人間による確認は必要**としています。Patlytics自身も利用規約で**出力の正確性保証を否認**し、ユーザーにレビュー義務を課しています。したがって、Patlyticsは“アシスタント”であって、“最終判断者”ではありません。 ⁷⁴

導入検討時のチェックリスト

導入判断では、少なくとも次の確認が必要です。

観点	具体チェック
モデル透 明性	どの基盤モデルを使うか、モデル切替可否、モデル更新時の変更管理。Patlytics公開情報では 未公開 。 ⁷⁵
データ境 界	顧客入力、出力、ログ、監査履歴、ファイル保持期間、削除SLA。公開上は 90日履歴保持・削除可 。 ¹⁸
セキュリ ティ	SOC 2 Type 2、ISO 27001、ISO 42001、DPA、サブプロセッサ、SSO/SCIM。Patlyticsは前3者を掲示するが、SSO/SCIM公開情報は 未確認 。 ⁷⁶
法務運用	Outputの権利帰属、責任分界、第三者権利侵害時の扱い。PatlyticsはOutputを顧客側に帰属させる一方、非侵害・正確性保証はしていない。 ⁶
業務適合	自社が必要なのが検索中心か、訴訟中心か、出願中心か。Patlyticsは広いが、深度が必要なモジュールをPoCで確認すべき。 ¹⁹

観点	具体チェック
統合	DMS、ドCKETティング、文書管理、BI、課金/顧客案件管理との連携。公開APIは 未公開 。 77

想定ROIと導入リスク

公開事例をそのまま単純適用すると、たとえば年15件の出願ドラフティングで**\$75K-112.5K**、年10件の侵害調査で**\$10K-50K**、年1件の大型ポートフォリオ分析で**約\$38K**規模の効果が示唆されます。したがって、**年額総コストが概ね\$120K~\$200K前後を下回る水準なら、単年度でも投資回収余地がある**という仮説は成り立ちます。ただしこれは**ベンダー公表ケースの単純積上げ**であり、実際のROIは入力品質、レビュー体制、案件難度、既存業務成熟度で大きく変わります。 48

導入リスクの中で最も大きいのは、**価格不透明性、技術透明性不足、AI出力への過信**の3点です。Patlyticsはかなり有望な製品ですが、公開情報だけでは「どのモデルがどの処理で使われるか」「何がルールベースで何が生成AIか」「既存システムにどう埋め込めるか」が見えません。従って推奨導入手順は、**本番契約前に、実データでの限定PoC → 精度/工数/監査性の定量評価 → セキュリティ/法務レビュー → 本契約**です。 78

最終評価としては、Patlyticsは「特許実務の統合AI基盤」候補としては非常に強い一方、**エンタープライズ調達要件に耐えるためには、公開情報の外側で確認すべき事柄がまだ多い製品**です。特に、**大規模知財部門・訴訟対応チーム・Am Law級ファーム**には適合可能性が高いですが、**高度に厳格な情報統制やアーキテクチャ開示を求める組織**では、契約前検証が不可欠です。 79

参考ソース

主要ソースは以下です。**日本語の一次情報は限定的**だったため、Patlytics本体については英語の公式情報への依存度が高く、法的・倫理論点では日本の公的資料を優先しました。

区分	主なソース	本レポートでの用途
公式サイト	Patlyticsホーム、About、Security、各製品ページ、News、Customer Stories、Terms of Service。 80	会社概要、製品機能、技術、セキュリティ、料金・契約条件。
公式以外の企業情報	LinkedIn company page、Business Insider、Bloomberg Law。 81	本拠地、顧客例、成長・市場tractionの補完。
競合の一次情報	IPRally、PatSeer、Patsnap Eureka、PowerPatentの公式サイト・価格ページ。 82	競合比較。
公的・準公的資料	JPO、USPTO、WIPO、文化庁。 83	法的・倫理的懸念、導入時の注意点。

1 4 18 19 24 25 26 27 37 40 41 42 45 48 52 53 54 55 66 76 77 80 Patlytics • Premier AI-Powered Patent Intelligence
<https://www.patlytics.ai/>

2 7 13 14 Announcing our \$4.5M seed round led by Gradient
https://www.patlytics.ai/news/announcing-our-4-5m-seed-round-led-by-gradient?utm_source=chatgpt.com

3 35 Data Security and Protection at Patlytics
https://www.patlytics.ai/security?utm_source=chatgpt.com

- 5 50 **Best AI Patent Analysis Software in 2026**
https://www.patlytics.ai/blog/best-patent-analysis-software?utm_source=chatgpt.com
- 6 43 56 75 78 **Terms of Service**
<https://www.patlytics.ai/tos>
- 8 **Careers at Patlytics**
https://www.patlytics.ai/careers?utm_source=chatgpt.com
- 9 10 11 **About Patlytics • Innovators at Heart**
<https://www.patlytics.ai/about>
- 12 79 **The Patent Platform Built for What the Work Actually ...**
https://www.patlytics.ai/news/patlytics-raises-40-million-series-b?utm_source=chatgpt.com
- 15 **Patlytics Secures \$14 Million Series A Led By Next47**
https://www.patlytics.ai/news/patlytics-secures-14-million-series-a-led-by-next47?utm_source=chatgpt.com
- 16 **Patlytics Raises \$40 Million Series B to Expand the AI ...**
https://www.businesswire.com/news/home/20260408770722/en/Patlytics-Raises-%2440-Million-Series-B-to-Expand-the-AI-Platform-Purpose-Built-for-IP-Work?utm_source=chatgpt.com
- 17 **Patlytics Announces New Company Momentum for its GenAI-Powered Patent Intelligence Platform • Patlytics**
<https://www.patlytics.ai/news/patlytics-announces-new-company-momentum-for-its-genai-powered-patent-intelligence-platform>
- 20 21 36 72 **Patent Infringement Detection Software | Patlytics**
<https://www.patlytics.ai/infringement-detection>
- 22 23 **Patent Invalidity Analysis Software | Patlytics**
<https://www.patlytics.ai/invalidity-analysis>
- 28 38 **Office Action**
<https://www.patlytics.ai/office-action>
- 29 30 31 **Patent Portfolio Management & Monetization: How AI Can ...**
https://www.patlytics.ai/blog/patent-portfolio-valuation-monetization-how-ai-can-transform-strategy?utm_source=chatgpt.com
- 32 33 **How AI-Powered Patent Tools Are Transforming the IDF Process for R&D Teams • Patlytics**
<https://www.patlytics.ai/blog/how-ai-powered-patent-tools-are-transforming-the-idf-process-for-r-d-teams>
- 34 **Five minutes with...Paul Lee, Patlytics**
https://www.managingip.com/article/2edsz3bnwq92tuvr19bls/patents/five-minutes-with-paul-lee-patlytics?utm_source=chatgpt.com
- 39 73 **Patent Infringement Detection Software**
https://www.patlytics.ai/infringement-detection?utm_source=chatgpt.com
- 44 **Patent Claim Charting Powered by AI**
<https://www.patlytics.ai/claim-charts>
- 46 47 49 **Customer Stories • Patlytics**
<https://www.patlytics.ai/customer-testimonials>
- 51 **Patlytics • Premier AI-Powered Patent Intelligence**
https://www.patlytics.ai/?utm_source=chatgpt.com

57 59 71 IPRally | AI Patent Search, Review & Classification

<https://www.iprally.com/>

58 82 Pricing Plans

<https://www.iprally.com/product/pricing>

60 61 62 AI Patent Search & Analysis | Intellectual Property Search Tool

<https://www.patseer.com/>

63 Patsnap Eureka | AI Agents for IP, R&D, Life Sciences ...

https://eureka.patsnap.com/?utm_source=chatgpt.com

64 65 Patsnap Eureka Drafting | AI Patent Drafting Assistant

<https://eureka.patsnap.com/ip-drafting>

67 69 70 Home | PowerPatent

<https://powerpatent.com/>

68 Pricing | PowerPatent

<https://powerpatent.com/pricing>

74 Guidance on Use of Artificial Intelligence-Based Tools in ...

https://www.federalregister.gov/documents/2024/04/11/2024-07629/guidance-on-use-of-artificial-intelligence-based-tools-in-practice-before-the-united-states-patent?utm_source=chatgpt.com

81 Patlytics

https://www.linkedin.com/company/patlytics?utm_source=chatgpt.com

83 AI関連技術に関する特許審査の事例について

https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/patent/ai_jirei.html?utm_source=chatgpt.com